高木基金　成果発表会配付資料

| | | | |
|---|---|---|---|
| グループ名<br>・代表者名 | 長野県廃棄物問題白書刊行委員会<br>関口　鉄夫 | 助成金額 | ２０万円 |
| 助成のテーマ | 「長野県廃棄物問題白書」の編集と出版 | | |

調査研究等のテーマに関する背景説明

| | | |
|---|---|---|
| 問題の概要 | ・廃棄物処理施設は身体的人格権・平穏生活権的人格権を侵害するケースが多く、最終処分場はストック公害化している。そのため、廃棄物処理施設をめぐる紛争は以前より増え多様化している。 | |
| 問題の原因など | 法律が強化されても許可権限を持つ行政の対応は変わっていない。<br>被害の立証責任は住民に押し付けられたままで、環境汚染は進行する一方である。<br>地域住民の運動が徐々に地方自治を変えつつある。 | |
| 問題の経過 | 白書は「長野県廃棄物問題研究会」と各地の住民運動の取り組みの成果の記録。 | 位置関係 |
| 争点 | 事業者の利益に沿う、許可権者の法律の解釈と運用。<br>立証責任の所在と法律で定められた検査法の問題。<br>行政の審査・公共関与と情報の透明性の問題。<br>住民運動の合意形成と意思表示の手段の形。 | |
| 助成を受けた調査研究等のねらい | 多様な住民の取り組みの検証。<br>運動から学べるもの。 | |

## 資料を集めよう

**① 許可申請書類**
事業計画書（計画概要書との矛盾）・生活環境影響調査報告書
→ 施設の構造・維持管理方法その問題点を知る。

**② 事業計画と行政の対応**
許可申請書類の取り扱いと審査に関する書類・審査会の議事録
→ 判断の根拠と経過を知る。

**③ 事業者の記録**
操業記録（マニュフェスト伝票、施設の維持管理記録など）
維持管理記録（観測記録）

**④ 監視・指導に関する記録**
指導管理記録簿（毎月）、苦情に対応した記録。
→ 法律にもとづく対応を知る。

4

## 住民のできる環境調査

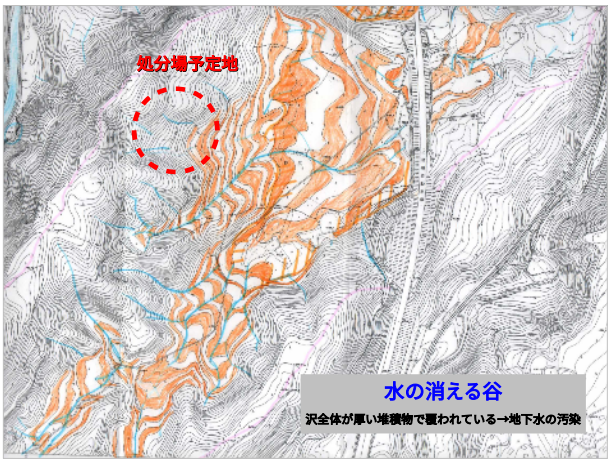
**地域の人々の体験と技術を生かして、…。**
農・林・水産業を生業とする人たちは地域の博物学者、
土木業者、設計士 、学校の先生・医師など技術や知識を持った人、
知識がなくても、→ 基礎的な学習会で本領発揮。

**現場を歩き、確かめる**
生態系、地質、水系調査、地表風調査など。
地域の社会的環境を知る→病院・学校・公園・遺跡・土地利用など。
廃棄物を掘る→廃棄物の分類調査、トレンチ調査など。

**日常生活を記録する**
生活の中の異変（異臭、粉塵による汚れ、さびなど）。
健康状態を記録する（旅行の前後の変化→「転地療養」）。
生き物たちのシグナルに耳を傾けて、…。

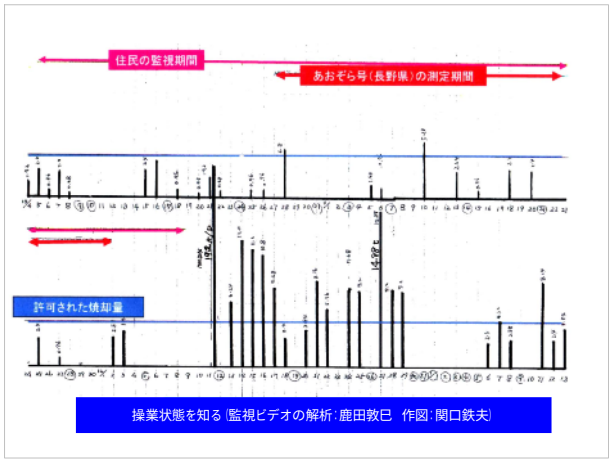
**再現性の高いデータを基礎として**

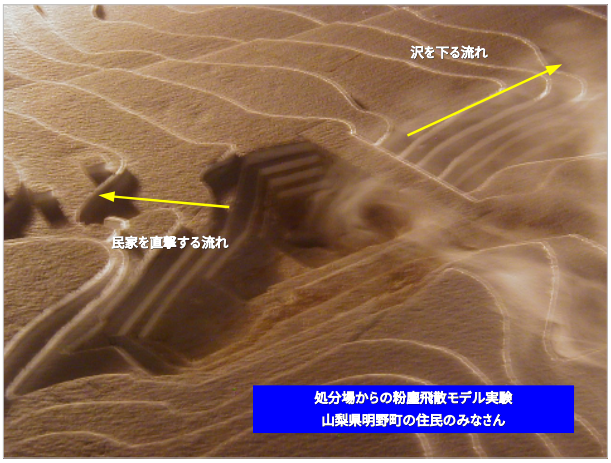
5



グーダルアースの映像から（Yさん）

生き物たちのシグナル 病院の樹木


住民の監視期間
あおぞら号（長野県）の測定期間
許可された焼却量
操業状態を知る（監視ビデオの解析：鹿田敦巳　作図：関口鉄夫）


沢を下る流れ
民家を直撃する流れ
処分場からの粉塵飛散モデル実験
山梨県明野町の住民のみなさん

モニタリング（委員会の設置）
コンクリートの影響
残土の影響：電気伝導率

必勝
住民自治へ→施策を根底から考え直す。

## グループ(個人)のプロフィール

<table>
<tr><td rowspan="4">連絡先など</td><td>住所・所在地</td><td colspan="3">長野県中野市大字豊津 2063-33</td></tr>
<tr><td>連絡担当者</td><td colspan="3">関口　鉄夫</td></tr>
<tr><td>電話・FAX・携帯</td><td colspan="3">0269-38-3827</td></tr>
<tr><td>E-mail・URL</td><td colspan="3">gomipochi@coast.ocn.ne.jp</td></tr>
<tr><td>グループの特色</td><td colspan="4">それぞれが地域の廃棄物処理施設をめぐる地域紛争を解決し、関わってきた人たちの意見交換の場。求めに応じて、情報を提供している。</td></tr>
<tr><td>これまでの活動経過・研究実績</td><td colspan="4">長野県廃棄物問題研究会は一昨年解散した。<br>長野県内各地の住民運動の成果を記録するために「廃棄物問題白書刊行委員会」がつくられ、各地の運動と連絡を取りながら、記録集を編集してきた。<br>今回の出版物は、それらの経験を元に、住民運動をテーマにまとめられた。<br>編集委員会は６名で構成し、必要に応じて各地の協力を求めている。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">グループの組織基盤・財政状況</td><td>決算/事業報告</td><td>あり</td><td>会員組織</td><td>あり</td></tr>
<tr><td>会報など</td><td>現在休止</td><td>発行サイクル</td><td></td></tr>
<tr><td>会員･支援者数</td><td colspan="3">２０数団体程度</td></tr>
<tr><td>年間の予算規模</td><td colspan="3">４０万円程度</td></tr>
<tr><td>主な収入内訳</td><td>項目　　＊＊万円<br>編集委員の負担金、カンパ。</td><td>主な支出内訳<br>会議費、旅費等。</td><td>項目　　＊＊万円</td></tr>
<tr><td>主要ﾒﾝﾊﾞｰ役員など</td><td colspan="4">刊行委員会　委員長　関口鉄夫<br>事務局　宮下隆文ほか４名<br>会計　　１名</td></tr>
<tr><td>協力を受けている研究者(*1)</td><td colspan="4">特にないが、地域に専門家の紹介をしている。</td></tr>
<tr><td>協力して活動している団体など(*2)</td><td colspan="4">特にない。</td></tr>
<tr><td>その他<br>(自己ＰＲ・協力要請等も可)</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

*1　グループの役員など、恒常的に助言・協力を受けられる関係にある場合は◎印をつけ、役職や関係などを付記して下さい。
(過去に助言・協力を受けたことがある、あるいは、今後依頼できる、という関係の研究者は、無印で記載して下さい。)
*2　特に密接な関係にある団体には◎印を付けて下さい。(必要なときに協力を頼める、頼んだことがあるという団体は無印で記載して下さい。)

## 参考文献・ウェブサイトなど

・
・
・